

議事録（議事要旨）		開催日	令和2年2月6日（木）		担当課	水道局業務課	
		開催場所	廿日市市水道局 301号室				
会議名	第2回 廿日市市上下水道事業経営審議会						
参加者	審議会委員	8名委員出席、1名委員欠席（8名/9名）					
	事務局 （水道局）	川本水道局長 <small>（下水道担当部長）</small>	泉次長	西原工務課長	平松補佐	入江専門員	松井主事
	事務局等 <small>（下水道課等）</small>	川岡次長	玉貞施設課長	西村経営課長	森島調整監	中田補佐	齋藤補佐
		井清係長	寄井主任	トーマツ	トーマツ	トーマツ	—
議事内容	<p>議事1：廿日市市水道事業の建設費（投資）試算～水道施設の現状と今後の拡張・更新需要について～（資料1）</p> <p>議事2：廿日市市下水道事業の建設費（投資）試算～建設費（投資）の現状や今後の方針等について～（資料2）</p>						
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 会長あいさつ</li> <li>3 議事</li> <li>4 まとめ</li> <li>5 事務連絡等</li> <li>6 閉会</li> </ol>						
配布資料	<p>資料1：廿日市市水道事業の建設費（投資）試算～水道施設の現状と今後の拡張・更新需要について～</p> <p>資料2：廿日市市下水道事業の建設費（投資）試算～建設費（投資）の現状や今後の方針等について～</p> <p>当日配付資料（廿日市市給水区域図、廿日市市污水处理構想図、污水建設改良費の一世帯当たりの事業費算出、第1回経営審議会質疑回答（水質測定結果表等資料）、廿日市市污水处理施設整備構想）</p>						

発言者	内 容
	<p style="text-align: center;">( 1 5 : 0 0 )</p> <p style="text-align: center;">***** (開 会) *****</p>
(会 長)	<p style="text-align: center;">会長あいさつ</p>
(事務局)	<p style="text-align: center;">資料の確認、水道局の前回質疑回答</p>
	<p style="text-align: center;">(議事進行)</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>水道事業の建設費（投資）について（資料1）説明 （パワーポイント併用）</p> </div>
(委 員)	<p>アセットマネジメントなどカタカナ言葉が多い。私も含め出席している人達が煙に巻かれているような感じがします。アセットマネジメントとは、廿日市市水道事業施設更新基本計画そのものがアセットマネジメントということですか。</p>
(事務局)	<p>アセットマネジメントは、15ページのように、現在の状況が左のイメージ図で、団地などの整備を一気に行い、更新が集中することとなりますが、投資の可能額は一定としなければなりませんので、真ん中の表のように投資を平準化するという概念です。</p>
(委 員)	<p>ダウンサイジングなどの言葉を使用せず、日本語説明いただく方が理解が進みます。</p>
(会 長)	<p>確かにカッコ書きはわかりにくかったかもしれません。今後の費用を、アセットマネジメントにより、平均して計画、更新し、投資を平準化してということです。次回から、少しカタカナ言葉を使わないようにしましょう。</p>
(委 員)	<p>宮島地域は簡易水道なのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>会計は来年度から上水道事業と統一されます。ただし、認可事業としては、上水道事業と吉和、宮島の簡易水道事業で分かれます。</p>
(委 員)	<p>宮島を簡易水道事業とすることはなぜでしょうか。</p>
(事務局)	<p>上水道事業に統合する必須条件にあてはまらず、財源的に有利なところもあり、今は簡易水道事業で残しています。</p>
(会 長)	<p>事業会計としては一体ですね。</p>
(委 員)	<p>原地区後畑はどうなるのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>今のところ給水の計画外です。</p>

発言者	内 容
(委 員)	原小学校、市民センターあたりには、繋げないのですか。
(事務局)	一期の計画では、図の低区配水池から水を配ります。小学校や市民センターにも繋がります。
(委 員)	8 ページのところで、新宮中央公園が防災の拠点になっていますが、地震だけの防災拠点の想定なのでしょうか。可愛川が氾濫したときは大丈夫なのでしょうか。可愛川は天井川ではないのでしょうか。
(事務局)	天井川にはなっていないと思いますが、設備として耐震性の貯水槽を整備しているということです。
(会 長)	基本的には、地震対策ということですね。
(副会長)	おとしの大雨災害の時は廿日市は大丈夫だったのですか。
(事務局)	大丈夫でした。県南部、東部あたりが大変でありました。
(副会長)	宮島のもう 1 本の海底管は、現在の自己水分をカバーする意味合いでしょうか。
(事務局)	自己水は島全体の 25% 程度しか取水できません。もう一本あれば全域に配れます。
(会 長)	現在の施設は廃止するということですね。
(事務局)	今の施設を更新するよりも、海底管の方が安価に更新できますので有利と考えています。
(副会長)	浄水したものを送るのですか。
(事務局)	送水距離が長くなるので、塩素濃度を追入する必要があります。
(会 長)	観光地であるし、二重で整備することは良いですね。 今回は建設投資についての説明でしたが、次回以降、収入とのバランスを審議していきます。 それでは、引き続き、下水道課からお願いします。
(事務局)	<b>下水道課の前の質疑回答</b>
(委 員)	汚水建設改良費の一世帯当たりの事業費算出資料、一世帯 38 万円が個々の負担ということですか。
(事務局)	割算となっています。③と④を⑤で割ると 38 万円となり。数値には企業等も含まれます。
(委 員)	受益者負担金は間口などでなく面積によって決まるのですか。

発言者	内 容
(事務局)	はい。面積です。
(委 員)	下水道は、いらないと言われる人も多いでしょう。
(事務局)	今のままで良いという人はいらっしゃいます。
(委 員)	納得いただかない人には、どうされますか。
(事務局)	十分に説明しながら、頑張っまいます。
(委 員)	佐伯ですが、山の中のポツンと一軒家などはどうでしょうか。
(事務局)	ポツンと一軒家みたいなところは合併処理浄化槽でお願いしていきます。
(委 員)	広島湾の数値も良いです。水質保全のためというが、海産物が育たず、これから何のために下水道を整備するのでしょうか。これ以上の役割はあるのでしょうか。
(事務局)	貧栄養化ということも取り上げられている。他市においては対応している事例もあるようですが、現在は、チッ素とリンの数値をもう少し高くするというように模索しています。
(会 長)	河川の方と比べてみると、公共水域としての評価はあると考えられます。
(副会長)	資料数値は年に1つの平均値でしょうか。季節などによって値も変わります。
(事務局)	この表は年平均値です。
(副会長)	海は規模が大きいです。川の方がよく状況が見て取れます。皆さんのところでドブ臭などはありますか。
(委 員)	友和病院の方の川には昔、サンショウオがいましたが、今はなくなったので、川をきれいにしてほしいという子供の声を聞きます。
(会 長)	そういう意味でも污水处理は大切です。それでは、下水道の説明をお願いします。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">           廿日市市下水道事業の建設費（投資）試算（資料2）説明（パワーポイント併用）         </div>	
(委 員)	大きな災害は想定できないわけですが、そういう時の投資額というのは、どのようになるのでしょうか。
(事務局)	災害の場合、まず復旧を優先しますので、その際は新設、整備は自然と遅れます。

発言者	内 容
（委 員）	そもそも作るという前提ですか。見直すといった考えはあるのでしょうか。
（事務局）	下水道の整備は必要と考えています。下水道の計画をたて、計画を達成することを考えています。95%以上、最終的に100%を目標に整備していきます。これからの10年間に、投資がこれだけ必要です。
（委 員）	作るということが前提であれば、この審議会を開く意味は何でしょうか。ここで意見を言ったら取り入れてくれるのでしょうか。
（事務局）	2回目審議会までは建設費がこれだけかかるという説明をさせていただき、3回目以降でその財源の説明をしていきます。収支を比べて議論していただきます。
（委 員）	今回までののは、単に説明会ということですね。
（会 長）	1回目、2回目は現状や投資の説明、3回目から財源と比べての審議が必要になってきます。本当に、この財源で建設費は妥当かという審議になるかと思います。これありきという訳ではなく、審議は次のステップでしていただきます。財源を示し、どういう結論になるか、更新をどういう形にするか、というところをしっかりと議論していきたいと思っています。
（委 員）	432億円の建設費が妥当という前提で話が始まっていますよね。
（会 長）	財源の説明のあとで、その規模が適正かどうか判断いただければと思います。計画を10年単位で検討、判断していこうということで、理解いただいてはどうでしょうか。
（委 員）	他の委員さんも数字を見てもわからないでしょう。特に下水道、本当に下水道が必要なのか素朴な疑問です。水道は、命に関わる問題で必要と思いますが、下水道はなくても生きていきます。本当に必要なのか、作ることが前提になっていますが、これだけ投資をしてもいいものですか。
（事務局）	海や川をきれいにするといった大前提があります。昔汚かった海、川が、現在きれいなのは下水道の整備によるものです。現在は、まだ半分の普及率ですが、今後の整備の中で、公共下水道と合併処理浄化槽の方のどちらが有利なのかを分析して、環境保全を市域の皆さんでしていただこうと考えています。
（委 員）	下水道の必要性は理解しますが、知らない数字が出て、なんとなく審議会が過ぎていきます。この場の議論で何か改善するのであれば、意味がありますが、もっと目的を明確にしてほしいです。単にお墨付きを与えるだけの会議でしょうか。
（会 長）	皆さんの意見を集約して答申とすることが審議会の大枠です。次回から、計画と財源がどうかということとなりますので、まったく無駄ではないと思います。

発言者	内 容
(委 員)	<p>みんながもっと意見が出せるような資料作りをお願いします。 資料送付が直前で、確認時間が少ないので、早めに資料送付いただければと思います。</p>
(委 員)	<p>別の会議でも、数字に関して何も言えないという例がありましたが、数字ではなく、他のことでの議論では意見が出ました。どうすればいいのかということを知れば意見が出るのではないのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>1回目、2回目では水道、下水道の投資などの一定数字の説明でありました。使用者としてどうやって経営を進めていくか議論いただきます。経営審議会になるので、数字の話となりますが、概要的なものも含めて説明していき、経営の効率化に対する意見をいただきたいと思っています。次回から資料を早くという意見にも注意しながら、必要に応じて、個別の事前説明も検討して審議会に臨んでいただきたいと思っています。次回から、説明を短くし、議論いただく時間を長く設け、足の重い会にならないようにしていきたいと思っています。</p>
(会 長)	<p>せっかく時間をいただくので、皆さんの意見が反映しやすい環境作りをしていきたいと思っています。できるだけ早めの資料送付、事前説明などにも対応いただき、進めていきたいと思っています。上下水道の利便性が失われないよう、皆さんで審議いただきたいと思っています。財源も、今だけがよければいいのではなく、子・孫の世代といった将来の皆さんにも一定の負担となるようなしくみを考えていくことが会の目的でもありますので、それらを踏まえて、今後の審議、答申をしていただきたいと思っています。</p>
<p>( 1 6 : 3 0 )</p>	
<p>***** ( 閉 会 ) *****</p>	